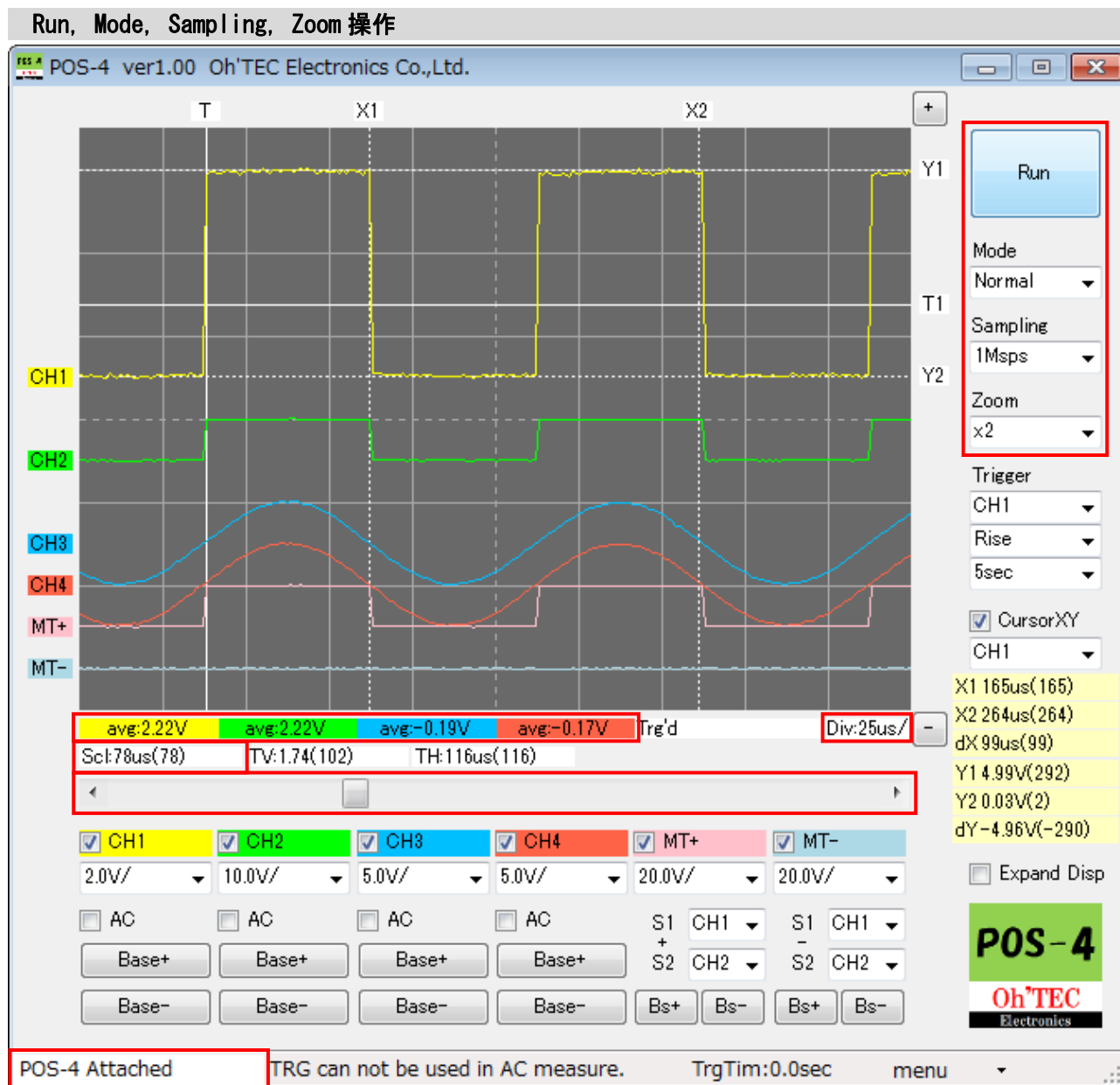


POS-4 簡単マニュアル(for Windows)



1. ステータス表示

POS-4 Attached

POS-4 接続時 : POS-4 Attached

POS-4 接続無し : POS-4 Detached

2. Run/Stop

Run

『Run』をクリックするとボタン名が『Stop』に変化し計測を開始します。

『Stop』をクリックするボタン名が『Run』に変化し計測を停止します。

※Single時 : トリガ 毎にStop します。

※Normal, Single時 : トリガ待ち状態でStopすることはできません。

トリガ検知が無い場合、トリガTimeoutになるまで操作をお待ちください。

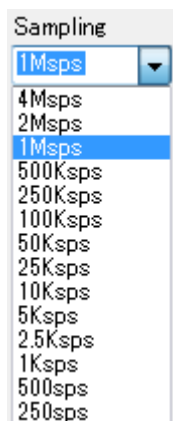
3. Mode



計測モードを Auto, Normal, Single より選択します。

※Normal, Single 計測は、P4[トリガ設定]を参照ください。

4. Sampling



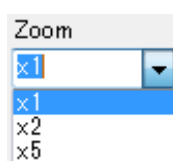
サンプリング周波数を 4Mpsps~250sps より選択します。

※4Mpsps は、CH1 のみの計測となります。

※2Mpsps は、CH1, CH2 のみの計測となります。

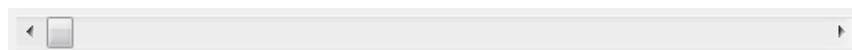
Div:25us/ 水平軸 Division の時間を表示します。

5. Zoom



表示倍率を x1 (1 倍) ~x5 (5 倍) より選択します。

Zoom 時に波形表示位置をスクロールします。



Sc1:78us(78) 上記スクロール時の波形表示開始位置を表示します。(カッコ内は、分解能 bit 表示)

6. 各チャンネル (CH1~CH4) の平均電圧を表示します。

avg:2.22V avg:2.22V avg:-0.19V avg:-0.17V

チャンネル設定

<input checked="" type="checkbox"/> CH1	<input checked="" type="checkbox"/> CH2	<input checked="" type="checkbox"/> CH3	<input checked="" type="checkbox"/> CH4	← チェック ON で計測波形を表示します。
10.0V/	10.0V/	10.0V/	10.0V/	
<input type="checkbox"/> AC	<input type="checkbox"/> AC	<input type="checkbox"/> AC	<input type="checkbox"/> AC	← チェック ON で AC 表示になります。
Base+	Base+	Base+	Base+	
Base-	Base-	Base-	Base-	

10.0V/	測定レンジを 200mV/～50.0V/より選択します。
200mV/	
500mV/	
1.0V/	
2.0V/	
5.0V/	
10.0V/	
20.0V/	
50.0V/	

Base+	各チャンネルの Base ラインを 1/2Div ライン上にて増減します。
Base-	

MATH 設定

<input type="checkbox"/> MT+	<input type="checkbox"/> MT-	← チェック ON で演算波形を表示します。
10.0V/	10.0V/	
S1 CH1	S1 CH1	
+ S2 CH2	- S2 CH2	
Bs+	Bs-	

10.0V/	測定レンジを 200mV～50.0V より選択します。
200mV/	
500mV/	
1.0V/	
2.0V/	
5.0V/	
10.0V/	
20.0V/	
50.0V/	

S1 CH1	MT+, MT-のソースチャンネルを CH1～CH4 より選択します。
+ S2 CH2	
[補足]	
CH1	MT+ : S1+S2
CH2	MT- : S1-S2
CH3	
CH4	

Bs+	Bs-	各チャンネルの Base ラインを 1/2Div ライン上にて増減します。
-----	-----	---------------------------------------

トリガ設定

Mode Normal, Single にて有効です。

POS-4 ver1.00 Oh'TEC Electronics Co.,Ltd.

Mode Normal

Sampling 1Mps

Zoom x2

Trigger CH1

Rise

5sec

CursorXY CH1

X1 165us(165)

X2 264us(264)

dX 99us(99)

Y1 4.99V(292)

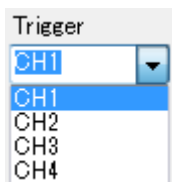
Y2 0.03V(2)

dY -4.96V(-290)

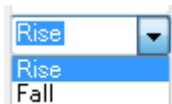
Expand Disp

POS-4 Oh'TEC Electronics

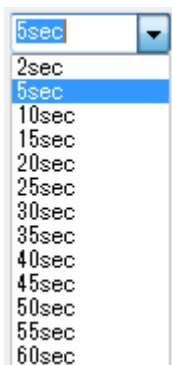
POS-4 Attached TRG can not be used in AC measure. TrgTim:0.0sec menu



トリガチャンネルを CH1~CH4 より選択します。



トリガエッジを Rise, Fall より選択します。



トリガ待ち時間(トリガ Timeout)を 2sec, 5sec~60sec(5sec 毎)より選択します。

T トリガ検知位置をマウスドラッグで移動します。

T1 トリガ電圧をマウスドラッグで移動します。



トリガ電圧を分解能 bit 単位で Up/Down します。



TV:1.74(102)

トリガ電圧を表示します。(カッコ内は、分解能 bit 表示)

TH:116us(116)

トリガ検知位置を表示します。(カッコ内は、分解能 bit 表示)

Trg'd

トリガ状態を表示します。

Trg' ? : トリガ待ち

Trg' d : トリガ検知

Timeout xxs : トリガ Timeout (xx は、タイムアウト時間)

計測開始からここでの時間を経過してもトリガ電圧の入力が無い場合に計測を停止します。

TRG can not be used in AC measure.

AC 表示選択したチャンネルをトリガチャンネルとして指定した場合に表示されます。

※このメッセージが表示されている場合でも計測可能です。

ただし、前述のトリガ電圧は、DCでの設定電圧であるため AC表示された波形とトリガ電圧のライン表示が一致していないことを意味します。

TrgTim:0.0sec

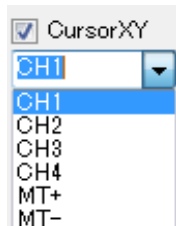
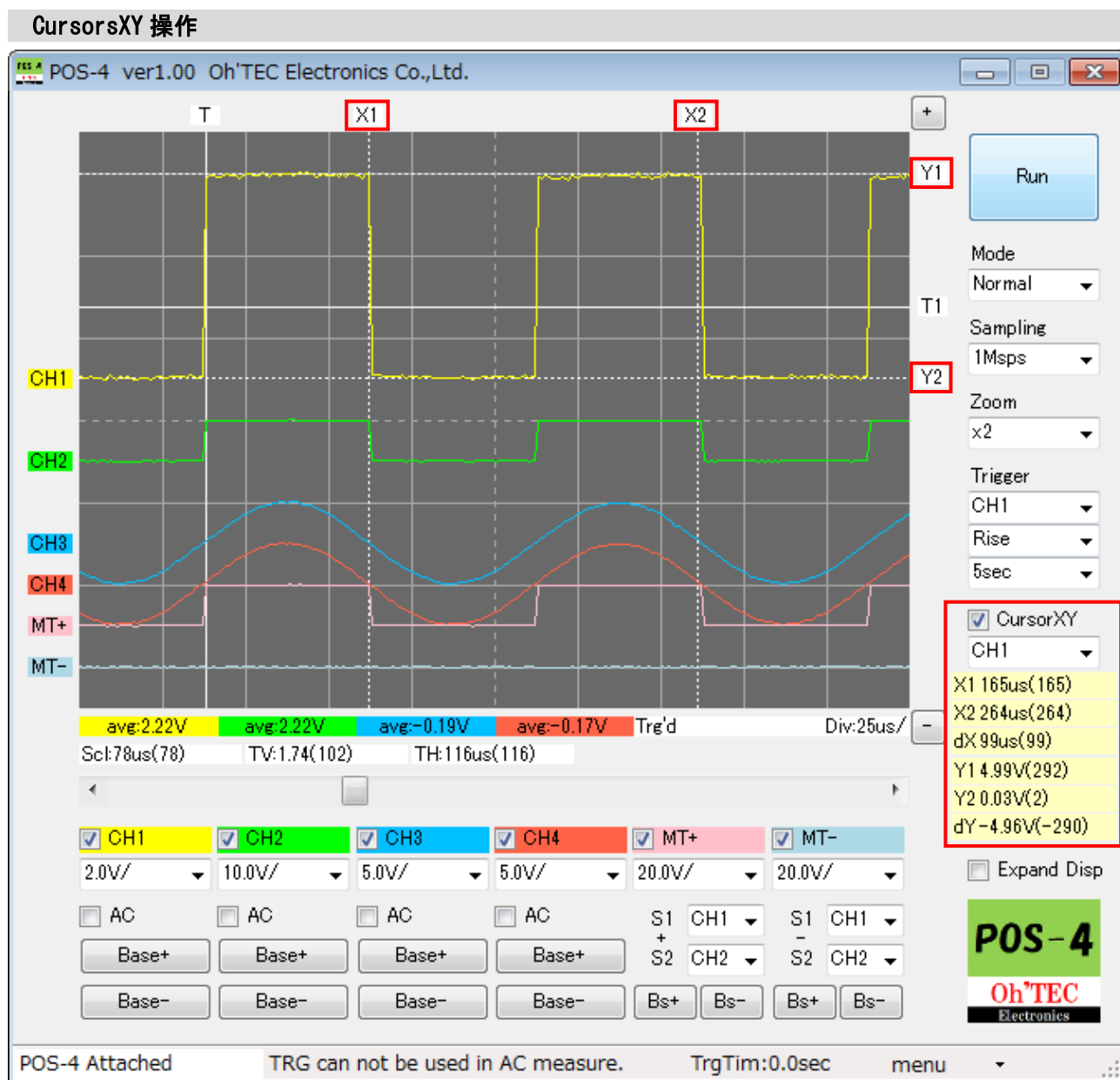
トリガ待ちの経過時間を表示します。

※トリガTimeout時間内にトリガの検知が無い場合、

トリガでの計測を停止し、AUTOモードにて計測を続行して波形表示します。

※ここでの表示は、トリガTimeoutにて設定した値に対し±10%程度の誤差があります。これは、表示に使用しているタイマーの誤差によるものです。

目安としてご利用ください。



← チェック ON でカーソル (X1, X2, Y1, Y2) を表示します。

← カーソルチャンネルを CH1~CH4, MT+, MT-より選択します。

X1 165us(165)

X2 264us(264)

dX 99us(99)

Y1 4.99V(292)

Y2 0.03V(2)

dY -4.96V(-290)

グラフ上のカーソル計測値を表示します。

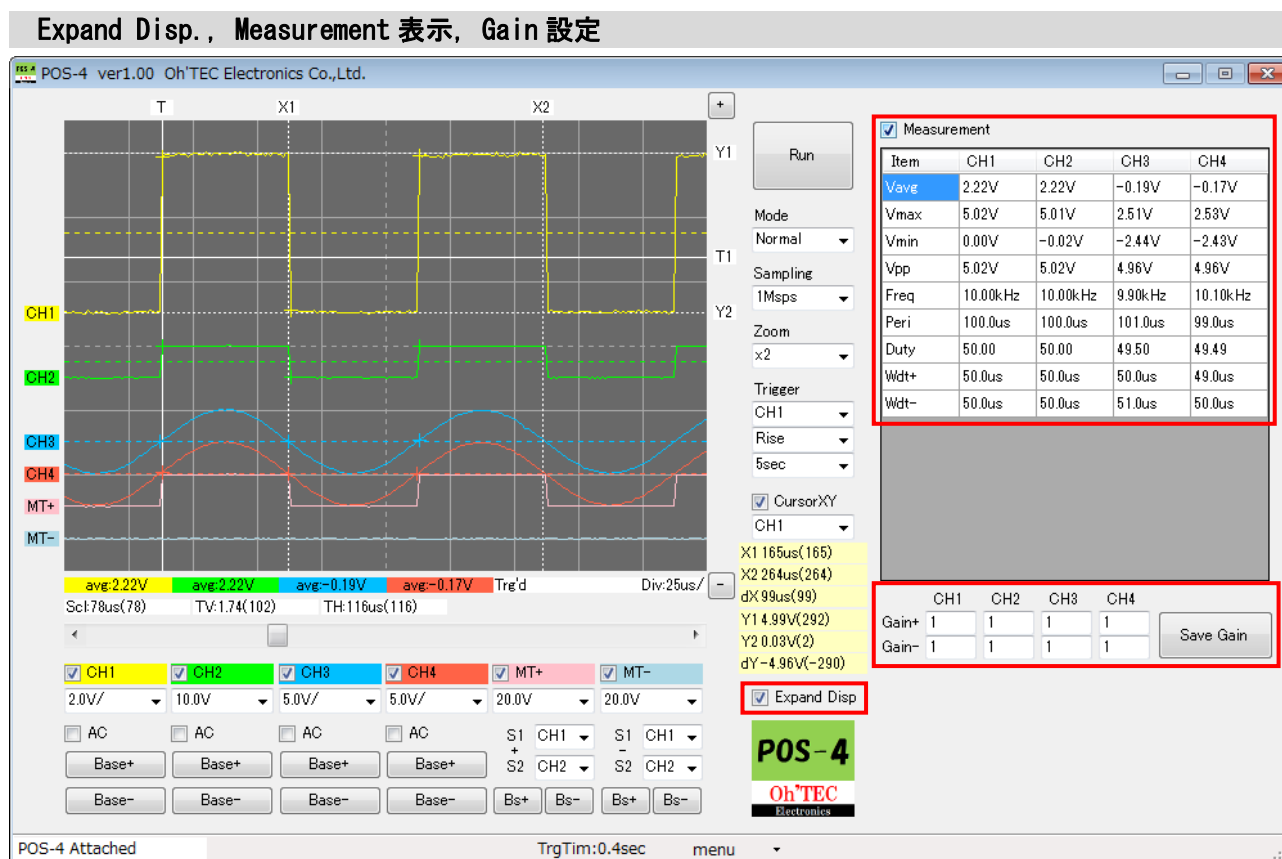
[補足]

$dX=X2-X1$

$dY=Y2-Y1$

X1 X2 時間計測カーソルをマウスドラッグで移動します。

Y1 Y2 電圧計測カーソルをマウスドラッグで移動します。



1. Expand Disp.

チェック ON で右側の画面を表示します。

2. Measurement

チェック ON で表示波形の計測値を表示します。

Vavg : 表示範囲の平均電圧を表示します。(※1)

Vmax : 表示範囲の最大電圧を表示します。(※1)

Vmin : 表示範囲の最小電圧を表示します。(※1)

Vpp : 表示範囲の Peak to Peak 電圧 (Vmax-Vmin) を表示します。

Freq : 最初に捕えた波形の周波数を表示します。(※2)

Peri : 最初に捕えた波形の周期を表示します。(※2)

Duty : 最初に捕えた波形の Duty を表示します。(※2)

Wdt+ : 最初に捕えた波形の正パルス幅を表示します。(※2)

Wdt- : 最初に捕えた波形の負パルス幅を表示します。(※2)

(※1) AC 表示選択時も元波形である DC 波形より算出しています。

(※2) ライン上の「+」は、各 CH の計測位置を示します。

3. Gain(Gain 補正機能)

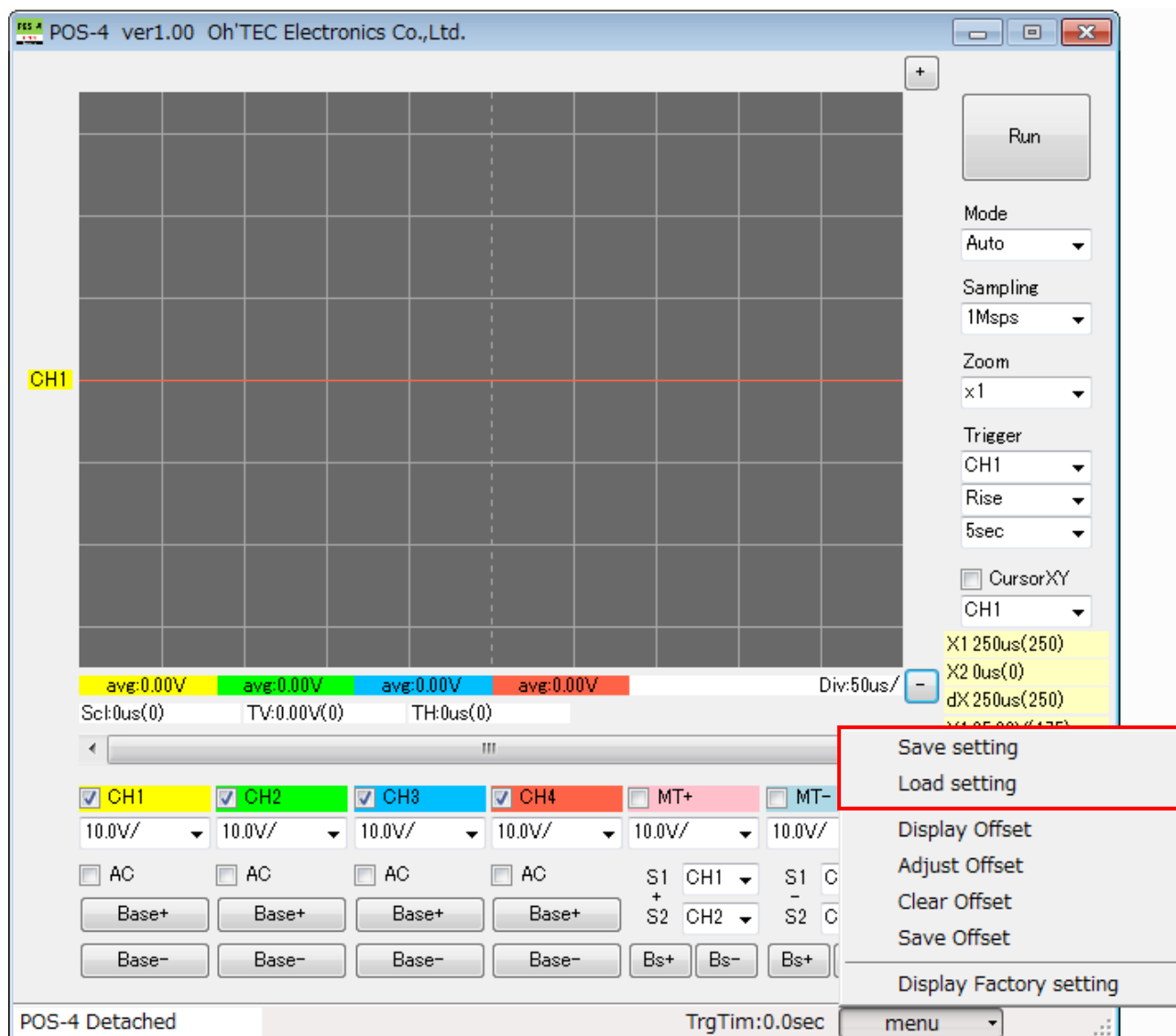
各チャンネルの Gain を入力・適応します。

Save Gain ボタンで保存します。(保存された内容は、次回起動時も有効となります。)

※Gain の調整は、プラス側(Gain+)とマイナス側(Gain-)の2種用意されています。

それぞれ基準電圧+30V, -30V などを入力し、測定表示と基準電圧が一致するように設定します。

Save setting, Load setting



1. Save setting

計測設定を保存します。

[保存される設定]

Mode 選択、Sampling 選択、Zoom 選択

トリガ設定(チャンネル、エッジ、トリガ開始位置、トリガ電圧)

チャンネル設定(チャンネル選択、測定レンジ、AC 表示選択、Base ライン位置)

MATH 設定(チャンネル選択、測定レンジ、Source 選択、Base ライン位置)

Cursors 選択チャンネル

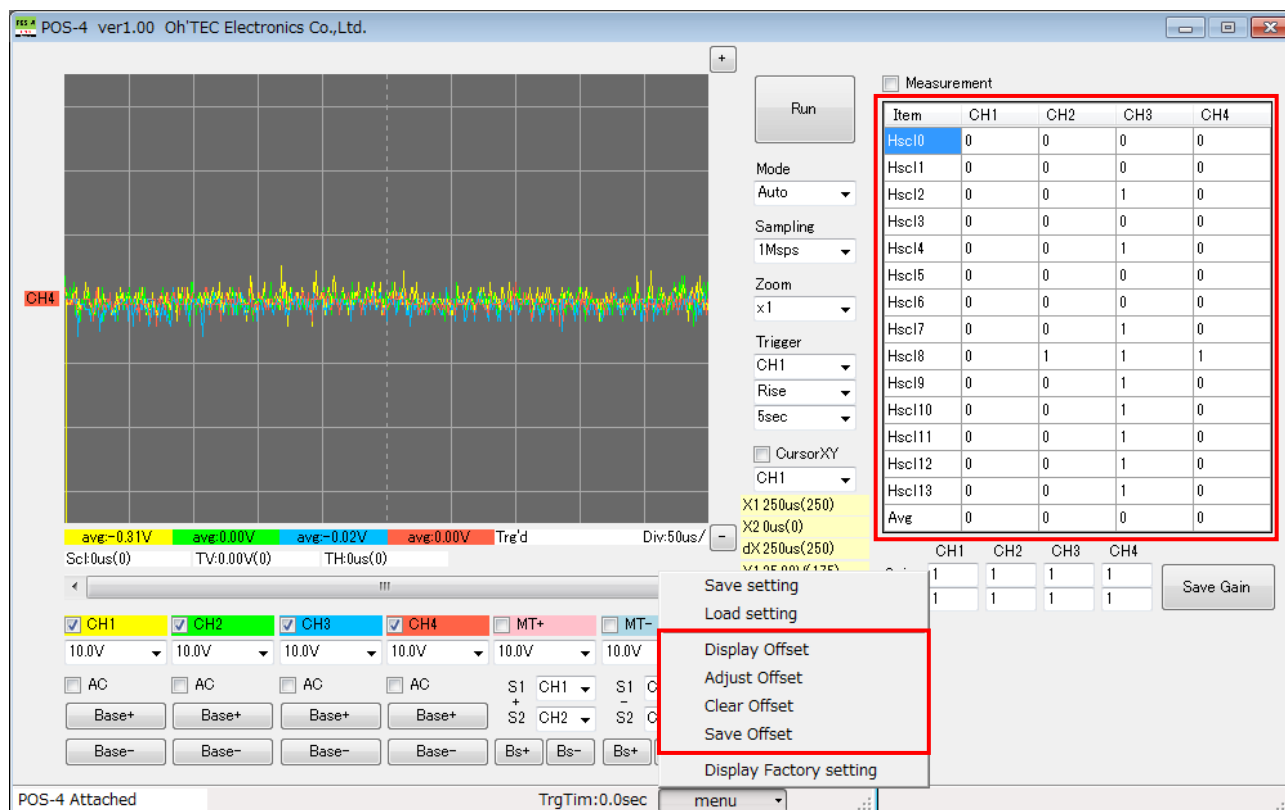
2. Load setting

保存された計測設定を読み込みます。

Adjust Offset

各 Sampling レート毎の補正值 (Offset 値) を測定・表示・適応します。

※無信号時 (全ての CH プローブを GND プローブに接続) の測定波形が GND ラインからズレている場合、Adjust Offset (自動 Offset 補正機能) を実施することで Offset 調整 (ゼロ調整) することができます。



1. Display Offset

現在適応されている補正值 (Offset 値) を表示します。

2. Adjust Offset (自動 Offset 補正機能)

自動で各 Sampling レートにて計測を行い、計測後に測定値を表示・適応します。

※全ての CH プローブを GND プローブ に接続した状態で実施してください。

3. Clear Offset

補正值 (Offset 値) をクリア (ゼロに戻す) ・適応します。

4. Save Offset

Adjust Offset/Clear Offset にて適応した値を保存します。(保存された内容は、次回起動時にも有効となります。)

Display Factory setting

POS-4 に保存されている出荷時の補正值を表示します。

※表示のみで設定の変更はできません。

※ここでの表示は、弊社がサポート時にお聞きする内容になります。

The screenshot shows the POS-4 software interface. The main window displays a grid for waveforms. On the right, there is a 'Measurement' table with the following data:

Item	CH1	CH2	CH3	CH4
Gain+	1.006	1.003	0.98	0.991
Gain-	1.005	1.003	0.98	0.991
Offset	-33	-18	-10	-1

Below the table, there is a 'Save Gain' button. At the bottom of the interface, a context menu is open, with 'Display Factory setting' highlighted by a red box.